

科目名	情報処理応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
学修内容	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指し、過去問題の演習を行う								
到達目標	情報処理技術者試験の「ITパスポート試験」および「基本情報技術試験」の合格を目指す								
授業の方法	過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、情報処理技術者試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：70％・出席：30％）して評価する。								
授業計画	1. 平成30年度 過去問題（秋期） 2. 平成30年度 過去問題（春期） 3. 平成29年度 過去問題（秋期） 4. 平成29年度 過去問題（春期） 5. 平成28年度 過去問題（秋期） 6. 平成28年度 過去問題（春期） 7. 平成27年度 過去問題（秋期） 8. 平成27年度 過去問題（春期） 9. 平成26年度 過去問題（秋期） 10. 平成26年度 過去問題（春期） 11. 平成25年度 過去問題（秋期） 12. 平成25年度 過去問題（春期） 13. 平成24年度 過去問題（秋期） 14. 平成24年度 過去問題（春期） 15. 模擬問題								
使用教材等	かんたん合格 平成30年度 ITパスポート試験過去問題集				インプレス社				
	かんたん合格 平成30年度 基本情報技術者過去問題集				インプレス社				
	プリント（過去問題）								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム応用			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
学修内容	高級プログラミング言語のJavaを使って、オブジェクト指向のコンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	Javaを使って、基本的なプログラミングできるようになることおよびオブジェクト指向プログラミングの理解を目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Javaの統合開発環境（Eclipse）を使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Javaの開発環境とJavaプログラミングの基本</li> <li>2. Javaの基本をマスターしよう</li> <li>3. クラスとオブジェクトについて</li> <li>4. 数当てゲームで構造を学ぶ</li> <li>5. 名簿や単語帳で集合値を学ぶ</li> <li>6. コピープログラムでデータの入出力を学ぶ</li> <li>7. ベットプログラムでオブジェクト指向を学ぶ</li> <li>8. 診断アプリで開発ステップを学ぶ</li> <li>9. 基本的なGUIアプリの作り方を学ぶ</li> <li>10. 本格的なGUIアプリの作り方を学ぶ</li> <li>11. 練習問題</li> <li>12. ～15. アプリ作成</li> </ol>								
使用教材等	10日でおぼえる Java入門教室 第3版				翔泳社				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム発展			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科	コース	情報プロフェッショナルコース	履修時間	60		
学修内容	動的Webプログラミング言語のPHPを使って、Webアプリケーション作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PHPを使って、データベースを使った基本的なWebプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Webサーバ上でのプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	筆記試験、Webアプリ作成および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50％・作品：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PHP言語の基本</li> <li>2. PHPを使う準備</li> <li>3. Webアプリの仕組み</li> <li>4. はじめてのPHPプログラム</li> <li>5. データの取扱い</li> <li>6. 配列</li> <li>7. 画面からのデータ入力</li> <li>8. 計算について</li> <li>9. 条件で処理を変える</li> <li>10. 繰り返し処理</li> <li>11. 便利な関数</li> <li>12. データベースの操作</li> <li>13. ～15. Webアプリの作成</li> </ol>								
使用教材等	ゼロからわかる PHP超入門 技術評論社 演習問題用プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	EUC			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境情報システムコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース	履修時間	60		
学修内容	マイクロソフト社のWord及びExcelを使って、文書作成及び表計算処理の基礎に加え応用技術を学ぶ。								
到達目標	MOS Word2016 Expert 及び MOS Excel2016 Expertの取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	(Word) 1. 文書のオプション 1. 文書の設定の管理 3. 高度な機能を使用した文書のデザイン 4. 高度な機能を使用した参考資料の作成 5. ユーザ設定のWord要素の作成 (Excel) 6. ブックのオプションと設定の管理 7. ユーザ定義の表示形式やレイアウトの適用 8. 高度な機能を使用した数式の作成 9. 高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成 10. 模擬試験プログラムの使い方 11. ～15. 模擬試験								
使用教材等	よくわかるマスター MOS Word2016 Expert 対策テキスト&問題集 FOM出版 よくわかるマスター MOS Excel2016 Expert 対策テキスト&問題集 FOM出版								
履修上の留意点・他	1年次の「ワープロ」及び「表計算」を履修済みであること								

科目名	データベース			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境情報システムコース 情報プロフェッショナルコース オフィスビジネスコース	履修時間	60		
学修内容	マイクロソフト社のAccessを使って、データベースの作成・操作の基礎を学ぶ。								
到達目標	Accessを使ってデータベース作成・操作の基礎知識を得ると共にMOS Access 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の進め方</li> <li>2. データベースの作成</li> <li>3. データベースの管理</li> <li>4. テーブルの作成</li> <li>5. テーブル内レコードの管理</li> <li>6. クエリの作成</li> <li>7. クエリ内で集計やグループ化を行う</li> <li>8. フォームを作成</li> <li>9. フォームの書式設定</li> <li>10. レポートの作成</li> <li>11. レポートの書式設定</li> <li>12. ～15. 模擬試験問題</li> </ol>								
使用教材等	MOS Access2016 対策テキスト & 問題集			FOM出版					
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プレゼンテーション			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	2年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科	コース	環境情報メソッドコース 情報プロフェッショナルコース ビジネスコース	履修時間	30		
学修内容	マイクロソフト社のPowerPointを使って、プレゼンテーションコンテンツ作成の基礎を学ぶ。								
到達目標	PowerPointを使ってプレゼンテーション資料作成の基礎知識を得ると共にMOS PowerPoint 2016取得を目指す								
授業の方法	テキストを使った講義と、パソコンを使った演習を行う。								
成績の評価と基準	MOS試験、実習状況および出席状況を総合的に判断（MOS試験：50％・実習：30％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習の進め方</li> <li>2. プレゼンテーションの作成</li> <li>3. プレゼンテーションの管理</li> <li>4. テキスト、図形、画像の挿入</li> <li>5. テキスト、図形、画像の書式設定</li> <li>6. 表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入</li> <li>7. 表、グラフ、SmartArt、メディアの書式設定</li> <li>8. 画面切り替えやアニメーションの適用</li> <li>9. 複数のプレゼンテーションの管理</li> <li>10. 模擬試験プログラムの使い方</li> <li>11. ～15. MOS模擬試験</li> </ol>								
使用教材等	MOS PowerPoint2016 対策テキスト & 問題集				FOM出版				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	情報処理基礎			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	120		
学修内容	情報処理技術者試験の「基本情報技術者試験」のシラバスに基づき、情報処理の基礎を学ぶ。								
到達目標	基本情報技術者試験の午前免除制度に合格することを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、各章が終わった時の小テストおよび過去問題集による演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、午前免除試験、各小テストおよび出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	1. ハードウェア 2. ソフトウェア 3. コンピュータで扱うデータ 4. アルゴリズムとデータ構造 5. システム開発 6. コンピュータシステム 7. ネットワーク 8. データベース 9. セキュリティ 10. マネジメント 11. 情報化と経営 12. 過去問題演習 ： 15. 過去問題演習								
使用教材等	かんたん合格 平成30年度 基本情報技術者教科書				インプレス社				
	かんたん合格 平成30年度 基本情報技術者過去問題集				インプレス社				
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	プログラム入門			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	60		
学修内容	情報処理技術者試験のための仮想コンピュータCOMET II で使われるアセンブラ言語（CASL II）を通して、ハードウェアの基礎、プログラミングの基礎や代表的なアルゴリズムを学ぶ。								
到達目標	アセンブラ言語（CASL II）を使って、基本的なプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、エミュレータを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. COMET II の仕様とCASL II の書き方</li> <li>2. アセンブラ命令</li> <li>3. CASL II の命令形式</li> <li>4. CASL II の基本命令</li> <li>5. アセンブラと機械語</li> <li>6. PRと分岐命令</li> <li>7. 論理加減算命令と比較命令</li> <li>8. 論理演算</li> <li>9. シフト演算</li> <li>10. スタック操作とサブルーチン</li> <li>11. 文字の定義と入出力命令</li> <li>12. その他の命令と文法</li> <li>13. 計算アルゴリズム</li> <li>14. 整列アルゴリズム</li> <li>15. データ探索アルゴリズム</li> </ol>								
使用教材等	基本情報技術者試験 CASL II 完全合格教本 改訂3版				新星出版社				
履修上の留意点・他	特になし								



科目名	プログラム基礎			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科			履修時間	60		
学修内容	高級プログラミング言語のC言語を使って、コンピュータプログラミングの基礎を学ぶ。								
到達目標	C言語を使って、基本的なプログラミングできるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、Microsoft Visual Studioを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：80％・出席：20％）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. C言語の基本</li> <li>2. 実行環境の構築</li> <li>3. データ型と入出力</li> <li>4. 演算子</li> <li>5. プログラムの制御</li> <li>6. 配列</li> <li>7. 構造体</li> <li>8. ポインタ</li> <li>9. 関数の基本</li> <li>10. 標準ライブラリ関数</li> <li>11. ファイル入出力</li> <li>12. マクロと記憶クラス</li> <li>13. 計算アルゴリズム</li> <li>14. 整列アルゴリズム</li> <li>15. データ探索アルゴリズム</li> </ol>								
使用教材等	10日でおぼえる C言語入門教室 第3版 翔泳社 演習問題用プリント								
履修上の留意点・他	特になし								

科目名	Webデザイン			担当教員	濱田 秀二	常勤・非	常勤	実務経験	有
対象学年	1年	対象学科	環境情報システム学科 環境情報オフィス学科			履修時間	60		
学修内容	ウェブサイトを作成するための基本的なHTMLとCSSのプログラミングを学ぶ。								
到達目標	HTMLやCSSを使って、基本的なウェブサイトの構築ができるようになることを目指す。								
授業の方法	テキストを使った講義と、ブラウザを使ってプログラミング演習を行う。								
成績の評価と基準	期末の筆記試験や実習課題、および出席状況を総合的に判断（筆記試験：50%・課題：30%・出席：20%）して評価する。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブページについて</li> <li>2. HTMLの基本</li> <li>3. ウェブページを作る</li> <li>4. サブページを作る</li> <li>5. CSSの基本</li> <li>6. CSSでレイアウト</li> <li>7. テキストのデザイン</li> <li>8. 挿入、景、枠線を付ける</li> <li>9. モバイル・SNS対応して公開</li> <li>10. JavaScriptの基本</li> <li>11. ～15. 課題作品制作</li> </ol>								
使用教材等	デザインの学校 これからはじめる HTML & CSSの本 技術評論社								
履修上の留意点・他	特になし								